

当院で非扁平上皮-非腺-非小細胞肺癌と診断された皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2019年9月24日

| | | | | |
|--------------|---|------------|----|------------------|
| ① 対象者 | 2014年1月～2018年12月に当院で非扁平上皮-非腺-非小細胞肺癌と診断され、ニボルマブ、ペンブロリズマブ、アテゾリズマブを投与された方 | | | |
| ② 研究課題名 | 腺癌または扁平上皮癌以外の非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害薬の効果に関する検討：多施設後方視的観察研究 | | | |
| ③ 実施予定期間 | 2019年10月から2021年7月まで | | | |
| ④ 実施機関 | 藤枝市立総合病院（主任研究施設：浜松医科大学） | | | |
| ⑤ 研究代表者 | 氏名 | 須田 隆文 | 所属 | 浜松医科大学内科学第二講座 |
| ⑥ 当院の研究代表者 | 氏名 | 小清水 直樹 | 所属 | 呼吸器内科 |
| ⑦ 使用する検体・データ | 診療録（病歴、治療歴）、血液検査結果、胸部レントゲン・CTデータ、病理所見等 | | | |
| ⑧ 目的 | <p>免疫チェックポイント阻害薬(ICI)は、これまでに肺癌で有効性が示され、多くの患者さんに使用されています。肺癌には、病理組織によって腺癌や扁平上皮癌などに分けられ、ICIの効果予測因子が異なるとされています。</p> <p>肺癌の中には、組織学的に、扁平上皮癌や腺癌の特徴を有さないものがあり、従来の殺細胞性化学療法の効果が異なるとの報告もされています。しかしながら、腺癌または扁平上皮癌以外の非小細胞肺癌は頻度が少なく、ICIの効果に関しては不明な点が多い状況です。</p> <p>本研究は、腺癌または扁平上皮癌以外の非小細胞肺癌患者を集積し、ICIの効果とその特徴を明らかにすることを目的とした研究です。</p> | | | |
| ⑨ 方法 | <p>対照患者さんの診療録から必要な情報を過去の情報を抽出して、解析を行います。保存された血液などの試料の利用や、この研究のために新たな試料を採取することはありません。</p> <p>なお、本研究への参加は患者さんの自由意思であり、参加しなくても不利益はありません。</p> | | | |
| ⑩ 倫理審査 | 倫理審査委員会承認日 | 2019年9月24日 | | |
| | 院長承認日 | 2019年9月24日 | | |
| ⑪ 公表 | 研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。 | | | |
| ⑫ プライバシー | 本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。 | | | |
| ⑬ 知的財産権 | 本研究により生じる特許、その他知的財産に関する権利（特許権）は、当院に属します。 | | | |
| ⑭ 利益相反 | 本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。 | | | |
| ⑮ 問い合わせ | 連絡先 | 呼吸器内科外来 | 電話 | 054-646-1111（代表） |
| | <p>上記連絡先にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。</p> <p>後日、あらためて研究者より直接回答いたします。</p> <p>※ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが2019年10月31日までにご連絡をお願いします。</p> | | | |

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。